


注意障害に対する 学習カリキュラム の開発



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター職業センター

はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、休職中の高次脳機能障害者を対象とした職場復帰支援プログラム、就職を目指す高次脳機能障害者を対象とした就職支援プログラムの実施を通じ、障害特性に起因する職業的課題への補完行動の獲得による作業遂行力や自己管理能力の向上、及び職業的課題に関する受講者の自己理解促進に資する支援技法を開発し、その成果の普及を進めています。

高次脳機能障害者の中には、複数のことに同時に注意を向けたり、切り替えるといった注意に関する課題を抱える方が見られます。これまで当センターでは注意障害のみに焦点をあてた技法開発は行ってきませんでした。注意機能は記憶や遂行機能等他の認知機能の働きと密接に関連しており、注意障害へのアプローチは高次脳機能障害者の職業リハビリテーションを進める上でとても大切な視点となります。

こうした状況を踏まえ、当センターでは「注意障害に対する学習カリキュラム」の開発に取り組みました。本支援マニュアルでは、注意障害に関連する課題について、国内外の先駆的な取組を紹介するとともに、これらの取組を参考に当センターで開発した講習の内容やその活用方法について解説しています。

本支援マニュアルが、高次脳機能障害者の就労支援の現場で活用され、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

本支援技法の開発にあたり、京都文教大学 中島 恵子教授、神奈川リハビリテーション病院の青木 重陽医師をはじめ職員のみなさまから、多くのご助言を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

令和5年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター 職業センター
職業センター長 中村 雅子